2016 年度　日本機械設計技術者クラブ（JMC）主催
「ベトナム（ハノイ）企業視察・研修会」

ＪＭＣ会長　武内　弘光
原稿提供：ヒラテ技研様

平成 28 年 7 月 16 日から 20 日（4 泊 5 日）の日程で、ベトナム（ハノイ）の企業視察・研修会を実施しました。今回も JMC 関西支部が企画し関西から 8 名、中部支部から 8 名が合同参加する形で行われ、総勢 16 名での訪問となりました。

１．　日程

７／１６（土）＜移動＞

関西空港と中部国際空港をそれぞれ分かれて出発し、ノイバイ国際空港を経由し現地ホテルで合流

７／１７（日）＜観光＞

終日）世界遺産「ハロン湾クルーズ」

７／１８（月）＜企業視察・市内観光＞

午前）TCI 社視察

午後）ハノイ市内観光

７／１９（火）＜企業視察・郊外観光＞

午前）VPMS 社視察

午後）世界遺産「チャンアンクルーズ」

７／２０（水）＜移動＞

ハノイ、ノイバイ空港から関西空港、中部国際空港着に分かれて帰国、解散

２．　視察・研修

ベトナムは、東南アジアのインドシナ半島東部に位置する社会主義共和制国家です。今回は、首都ハノイにて企業視察を行いました。

（１）ＴＣＩ社視察

まず、最初に視察させていただいた企業は、TCI 社という設備設計・製造、金属部品製造を行っている会社です。どこを見てもきれいに清掃されていることが印象的でした。設備関連の製造が 8 割程度あり、ある程度クライアントからプランニングをもらって設計するものから、目的だけを聞いて設計するものまであるということで、技術力の高さを感じました。従業員の技術面の教育については、各種展示会へ技術者の参加、日本で研修を受けることも多々あるということ。日本の仕事に関わることができるのは、ある意味ベトナムの技術者にとってのステータスであり、会社としての魅力でもあるそうです。

TCI 社視察風景

TCI 社前にて

（2）ＶＰＭＳ社視察

次に視察させていただいた企業は、VPMS 社という各種金型、鋳造品、樹脂成型品、プレス製品、治具の設計・製作を行っている会社です。ここでは、金型加工や治具製造の様子を見ることができました。自動車やオートバイの部品が多いそうです。クライアントの 95%が日系企業ということで、会社内のあちこちに日本語の記載が見られました。社員教育に日本語の勉強も取り入れているとのこと。社長のフイ様が言っていた「会社と従業員は努力しなければならない」という言葉の通り、こつこつと努力を積み重ねて技術力を身に着け,発展してきたという印象の会社でした。

VPMS 社視察風景

VPMS 社前にて

（3）ベトナムの技術者育成環境

ベトナムでは、農業に従事する人口の割合が多く、エンジニアを目指す人は少ないというのが現状です。特に熟練技術者が少なく、教わる相手がいないという問題があります。しかし、展示会参加、日本での研修、日本人技術者採用など、技術習得に対する投資が進んでおり、今後の工業技術の発展が想像できました。

３．観光

（1）世界遺産　ハロン湾クルーズ

そそり立つ島々を眺めながらのクルーズ観光。「海の桂林」と呼ばれる神秘的な光景でした。

ハロン湾

（2）市内観光

ホーチミン廟、一柱寺、文廟、旧市街などを観光。

ホーチミン廟

（3）世界遺産　チャンアンクルーズ

小舟に乗って、いくつもの鍾乳洞を屈みながら潜り抜けるクルーズは迫力満点でした。

４．企業視察を終えて

参加者全員が体調を崩すこともなく、無事に企業視察を終えることができました。ベトナムの歴史や社会情勢、風土についても学ぶことができ、ベトナムビジネスについて多くの情報収集ができた有益な研修会となりました。また参加者の方々と交流できたことも、貴重な時間となりました。暑い中での企業視察でしたが、参加された皆様お疲れ様でした。

以上